

解 説



次世代経営研究会第12回定例会

Next Generation Management Research Association 12th Regular Meeting

「金融業界の変化と日米金融業の違い」 前半

Changes in the Financial Industry and Differences Between the Japanese and US Financial Industries first half

事業部会経営委員会 次世代経営研究会運営委員会

Business Division Management Committee Next Generation Management Research Association Steering Committee

1. はじめに

2025年3月10(月)に「次世代経営研究会第12回定例会」をリモートの形式で開催した。参加者は関係者を含めて37名であった。今回は(株)Finatextホールディング常勤監査役(元シティフィナンシャルジャパンCFO, 元シティグループ内常勤監査役)の佐藤守氏をお招きして、「金融業界の変化と日米金融業の違い」の演題で講演いただいた。

まず金融業とはどのようなものがあるのかを大きくとらえ、金融業の歴史に関する全体像を把握したうえで、佐藤氏が個人的に経験した米国金融業界と日本の金融業界の変化とカルチャーの違い等について、いくつか具体例、特に失敗例等を入れてお話しいただき、最後に金融業界の今後の課題について触れられた。金融業以外の方にとってとっつきやすい話題を提供いただき、自由活発に意見交換が行われた。本号では佐藤氏の基調講演とそのQ & Aの概要を紹介する。

2. 開会挨拶 品質工学会・会長 佐藤吉治

この会は4年前、谷本氏が学会長の時に発足したものである。本日で12回を重ねる。次世代の経営者の育成を狙いとして、いろいろなテーマを取り上げ、テーマに関して知見をお持ちの方を招待して講

演をしてきた。今回は金融業界の知見をお持ちの佐藤守氏をお招きしている。品質工学では損失関数を扱っており、投資対効果は、最後はお金に換算して評価するという考え方を取っている。収益とのバランスを考える。その観点では、品質工学と金融業界の相性が良いように思うが学会員はメーカーと研究機関の出身者が多く、金融業界には疎かったため、これまで議論されてこなかったと考える。自身は38年間、建設機械のメーカーにいて、開発と品質保証しか経験していない。定年退職後は地銀系コンサル会社に入り中小企業のコンサルを担当している。金融業界は金融庁の規制が極めて厳しく、メーカー系の経験しかない自身にはカルチャーショックを覚える。本日のテーマは私自身にも興味深い。パネルディスカッションには金融業界から森巖氏、鈴木貴雄氏も招いており、感謝の意を示すとともに田口伸氏、鈴木智雄氏を交えて活発な意見交換を期待したい。本日の参加者にとって有益なものとなることを願って開会の挨拶とする。

3. 委員長挨拶 本研究会運営委員会・委員長 谷本勲

自身はこの会合の運営を担当している。品質工学が評価の基準にお金を使っているという意味で、われわれ経営という立場にいる者にとって品質工学そのものが経営と関連すると考える。早いもので、年